

A VENIR	
1998年春夏、メンズ・バリコレの傾向	2
NOUVEAUTES	
新製品・話題の商品	6
TALENTS	
ジル・シャブリエ	7
REPERES	
フランス版「Xファイル」現象	9
INFOS	
スポーツウェアメーカーの急成長	10
BREVES 'N BREF	
3行情報	12

EPHEMERES

NO.171

1997年9月04日

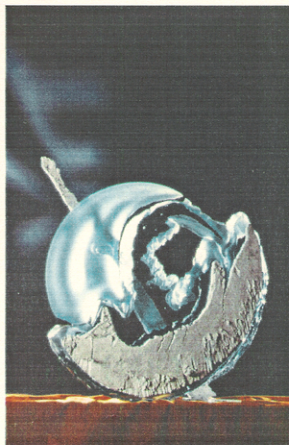
期待のアーティスト GILLES CHABRIER

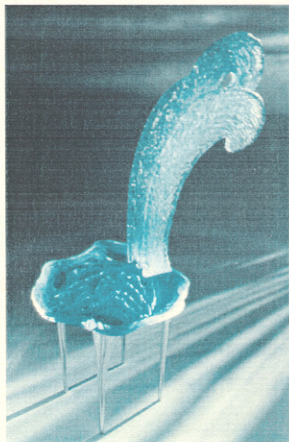
自然の美しさ、はかなさをサンドブラストを使った彫刻で表現していくジル・シャブリエ。今、フランスで最もタレントのある若手ガラス彫刻家だ。



ジル・シャブリエは、サンドブラスト（砂を吹き付ける表面処理法）を用いたオブジェ、家具作りを行うガラス彫刻家。フランスに初めてサンドブラストを導入したJEAN OUSTRYを祖父に持つ。祖父OUSTRYの活躍した30年代は、ノルマンディーから出港する大型客船の装飾を手掛けることと、イタリアガラスで有名なブランドSABINO、MORINOの商品作りが主な活動であったという。60年代には製鉄業が栄えたことから、メタルのサンドブラストが主流となったが、GILLESの受け継いだ80年代では、ガラスを多く取り入れ始めた現代建築の影響で、今世紀初期にも流行ったガラス素材を中心とした作品が多い。

初期に影響を受けたアーティストは、アバンギャルドな作品で知られていた彫刻家CUNY-FRANZ'S。彼の個展で作品を見て以来、いつか会える日を楽しみにしていたジルだったが、翌年、不幸にもCUNY-FRANZ'Sは自動車事故で亡くなってしまった。ジルはその後、彼の仕事と資材を受け継いでいる。





85年に出会ったDE GUELTZは、その後ガラスとメタル素材の家具づくりのパートナーとなり、シルの彫刻家としてのキャリアのスタートを手伝っている。86年には、個展「MEN OF GLASS」を共同で開いている。

その後、CUNY-FRANZ'Sから受け継いだ資材で、波からインスピレーションを受けたシリーズを発表。このシリーズの成功をきっかけに、92年からはクリスタル素材を使った「頭」シリーズを始めた。

作品のテーマは、風、水、波、侵食、砂漠などの自然からインスピレーションを受けることが多いという。砂の噴射器で形となって現れた作品からは、数年もかけて風化させていく自然の力強さが見事に感じられる。

また、彫刻家以外に影響を受けたのは、ANTONIN ARTAUD。彼の絵画からは、作品づくりに対する新しいアプローチを学ぶことができたという。波のしびき、珊瑚、人間の顔の表情といった多様な面と、はかなく消えていくものもろさ、動き、流動性、軽さ、透明さ、光を彫刻で表していきたいと語る。サンドブラストはもちろぬクリエイティブな職業だが、工業の1つとして受け継がれてきた点も作品作りには十分に取り入れていきたいと語っていた。

と語っていた。

現在は、アトリエで個人作品をつくったり、建築の内装を手掛けるかわら、パリ建築アカデミー付属のカレッジでも講師として活躍。出展サロンは、ピジョルカとIDEES MASION。来年は、フランクフルトの家具サロンにも参加する予定。

アメリカ、オランダ、リュクサンブルグ、カナダ、日本に輸出経験あり。日本人には、ガラスの椅子シリーズが好評だとか。

現在、バスチーユオペラの裏手にあたる高架下のショールームの他に、ルーブル・カル・ゼルに最近オープンした同業者のセシル・ヴァシのブティックでも数点の作品を販売している。

価格

燭台- 1500 フラン

ガラスの椅子- 22000 フラン

波のオブジェ- 15000 フラン

コンクリートを使った彫刻- 12000 フラン

発注ミニмум-なし (オブジェは10以上)

連絡先- 115, LAVENUE DAUMESNIL

75012

TEL-01 43 43 36 00

